

東南村山 おいしい米づくり情報

第 9 号 適期刈取り 編

発行：令和 7 年 8 月 22 日

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動村山地域本部

村山総合支庁農業技術普及課

(TEL：023-621-8295)

圃場ごとに登熟の進み具合をよく確認し、適期を見極めて刈取りを行いましょう！

管内の出穂期は、平坦部「はえぬき」「雪若丸」7/30 頃、「つや姫」8/8 頃と中生品種は平年より早いものの、晩生品種は平年並みとなっています。

作柄診断圃の穂揃期の生育状況

○作柄診断圃の m^2 あたり籾数は、「はえぬき」でやや少なく、「雪若丸」「つや姫」は少ない状況です。

表 生育診断圃の穂揃期の生育状況

品種	調査地域	年次	出穂期 (月/日)	止葉 (枚)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒/本)	総粒数 (百粒/㎡)	葉色 (SPAD)
はえぬき	山形市羽黒堂	本 年	7/26	12.9	503	69.6	350	36.5
		平 年	7/31	12.7	527	68.6	361	38.3
		平年比・差	-5	0.2	95	101	97	-1.8
雪若丸		本 年	7/28	13.0	470	64.0	301	35.2
		平年	8/1	12.8	552	59.2	326	39.1
		平年比・差	-4	0.2	85	108	92	-3.9
つや姫	山形市南石関	本 年	8/6	12.9	396	77.6	307	29.0
		平年	8/7	12.4	428	76.6	328	33.2
		平年比・差	-1	0.5	93	101	94	-4.2

出穂後積算気温と刈取り時期の目安

○刈取りは出穂後積算気温を目安にしますが、品種、圃場ごとに、**青籾歩合（15～20%）**、**籾水分（25%以下）**、**枝梗の黄化**、**倒伏程度**等を加味して、総合的に判断しましょう。

○玄米肥大の促進と胴割粒発生軽減のため、**落水は出穂後 30 日以降を目安とします。早期落水は厳禁！**

表 出穂後積算気温による刈取り適期の目安（平坦部）

品種	出穂期	刈取り適期積算気温の範囲	刈取適期の目安日		刈始めの 青籾歩合
			始	終	
はえぬき	7/30頃	900～1,150℃※	9/2	9/12	20%
雪若丸					15～20%
つや姫	8/8頃	950～1,150℃※	9/15	9/24	15%

最新の積算気温表は、**LINE に掲載しています！**

QR コードを読み込んで
グループ登録をして下さい。



稲作情報

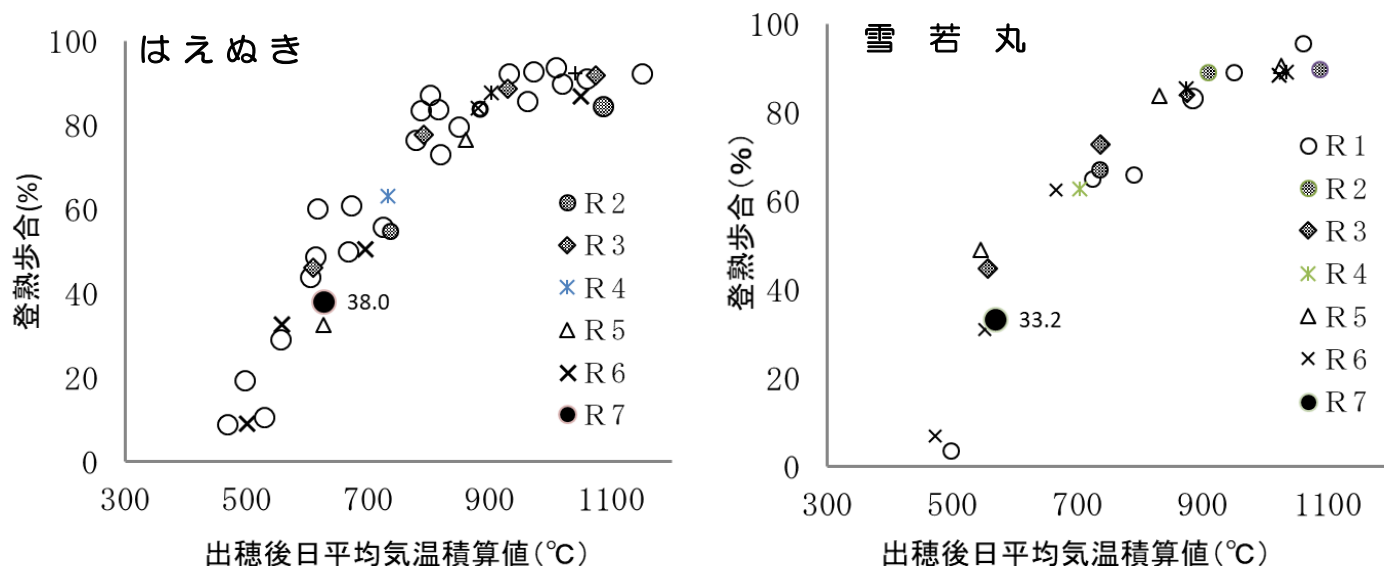
※8/21 までの日平均気温は本年値、8/21 以降は予測値を反映（アメダス山形値）。

※高温登熟年のため、「はえぬき」「雪若丸」「つや姫」は、刈取り適期を指標より 50℃前倒ししています。
その他の品種についても積算気温 900～950℃付近で圃場を確認して刈取りを判定しましょう。

調査圃の登熟調査結果（8月19日現在）

品種	出穂日	積算気温	登熟歩合	刈取り予測日
はえぬき	7月26日	627℃	38.0%	8月28日～9月6日
雪若丸	7月28日	568℃	33.2%	8月30日～9月6日
つや姫	8月6日	308℃	0.1%	9月12日～9月21日

【出穂後積算気温と登熟歩合】



○出穂直後の気温が低かったものの、登熟は順調に進んでいます。出穂が早かったため、刈取り適期も早まります。適期に作業できるよう、**早めに機械整備などの準備を進めて刈遅れをなくしましょう！**

乾燥・調製は慎重に！

- 収穫後は速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風・循環を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。
- 高水分粳（水分25%以上）を急激に乾燥すると胴割れしやすくなるので注意が必要です。
また、青粳が多い（粳水分のバラつきが多い）場合は、「水分の戻り」に注意し、「夜間休止乾燥」や「二段乾燥」を行いましょう。
- 粳摺り前に粳温や粳水分を確認し、必ず試し摺りをして、肌ずれ米を防ぎます。
- 立毛中で胴割れが多いと予想される場合は、通常の送風温度より**5～10℃低めの送風**を行い、**毎時乾減率0.6%以下**とし、胴割れの増加を防ぎましょう。
- 良質米生産のために、**1.90mm 網目(LL)以上、雪若丸は1.95mm網目(GL)で選別**します。

秋の農作業事故防止運動が始まります（9月1日～10月31日）
農作業事故と熱中症に十分注意して作業しましょう！